

全国高等学校総合文化祭自然科学部門 宮崎県予選 参加要領

1. 日 時 平成29年10月31日(火)

2. 会 場 宮崎県建設技術センター（大教室、中教室）

〒889-1602 宮崎市清武町今泉丙 2559 の1

TEL：0985-85-1600 FAX：0985-85-2991

3. 日 程 10月31日(火)

8:30～ 9:20 受付、各自リハーサル

9:30～ 9:45 開会行事

9:50～10:55 研究発表(I)

10:55～11:05 休憩

11:05～12:10 研究発表(II)

12:10～13:10 昼食

13:10～14:00 研究発表(III)

14:10～14:55 生徒交流会ならびに審査

15:00～15:15 閉会行事

※電車が早く着いた場合を考慮し、8:30から随時受け付けを行います。

各自で接続確認、リハーサルを行ってください。

4. 参加対象生徒

第42回全国高等学校総合文化祭(2018 信州総文) 自然科学部門への出場を目指す各学校の自然科学系部活動・同好会に所属している生徒、及び個人で研究活動を行っている生徒

5. 参加規程

(1) 物理・化学・生物・地学の分野を問わず 1校につき4作品までを出展可能。

(2) 宮崎県高文祭の参加校は、ポスターセッションと同内容もしくは更に発展させたものを出展し、全く別内容の研究を出展しないでください。タイトルなどの変更は構いません。

(3) 発表1件の発表者数は指定しません。(参考までに、全国大会ではパソコン操作者も含めて2名以内です。)

6. 発表について

(1) 発表時間は12分以内です。質疑応答は3分以内とします。

(10分経過後にベルを1回、12分経過後にベルを2回、15分経過後にベルを3回鳴らします。)

(2) 質疑は生徒と審査員からに限らせていただきます。

(3) パソコンは再生のトラブルを防ぐため、各自持ち込みとします。(詳細は8.発表に関する留意事項)

7. 招待審査員紹介

物理部門 松田 達郎 先生 宮崎大学工学部 工学基礎教育センター 教授

化学部門 塩盛 弘一郎 先生 宮崎大学工学部 環境応用化学科 教授

生物部門 佐伯 雄一 先生 宮崎大学農学部 応用生物科学科 教授

地学部門 流田 勝夫 先生 宮崎大学名誉教授、宮崎地質研究会顧問、県環境保全アドバイザー

8. 審査基準について

(1) 研究論文による事前審査では下記の点を評価する。(計10点)

I. 研究論文のまとめ方は適切であるか。(論文構成、調査・実験方法、再現性、論理性など)(6点)

II. 研究内容に創意工夫はあるか。(研究の着眼点、オリジナリティなど※)(4点)

※継続研究の場合は、テーマそのもののオリジナリティを評価。

(2) 口頭発表による当日審査では下記の点を評価する。(計30点)

I. 発表の手段や方法は適切であったか。(プレゼンソフトの使用法やスライド作成技術など)(12点)

II. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。(事実と仮定の明確さ、考察の論理性など)(9点)

III. 発表の態度はどうであったか。(発表時間は有効に使えたか、質疑応答は的確かなど)(9点)

9. 表彰ならびに全国大会推薦要項

(1) 表彰については、次の通りとします。

最優秀賞・・・物理、化学、生物、地学部門の最高得点を各1点選出。(計4点)

優秀賞・・・物理、化学、生物、地学部門の次点を各1点選出。(計4点)

(2) 全国大会への推薦については、次の通りとします。

全国代表	選考対象	選考数・選考規定
口頭発表部門 (計4作品)	本大会の各部門1位 (最優秀)作品	①研究論文が出ていない学校は選考しません(県高文祭でのポスター発表だけの学校も選考しません)。 ②1位が「該当なし」の場合、同じ部門の2位を繰上げ代表とはしません。 ③最優秀賞受賞校が辞退をする場合、優秀賞を繰り上げて代表とするかは審査委員会で協議します。 ④最優秀賞受賞校がポスター発表を選択する場合、優秀賞を繰り上げて代表とするかは審査委員会で協議します。 ⑤同一校が4分野のうち複数を占めることは妨げません。
ポスター部門 (1作品)	本大会の各部門で1位および2位(優秀賞)の最高得点作品	①プレゼン大会の各部門の最優秀校がポスター発表を選択した場合はその学校に決定します。

(イメージ図)

物理	化学	生物	地学
1位	1位	1位	1位
2位	2位	2位	2位
3位	3位	3位	3位

各部門の1位は、総合得点が高い順に
全国ポスターか全国プレゼンを選べます。
(希望は申し込み時に取ります。)

(1)1位が全てプレゼン希望だった場合は、
2位で最も点の高い発表がポスターに推薦されます。

(2)1位がポスターを選んだ部門は2位の発表がプレゼン
に推薦されるかは、審査委員会で審議します。
※著しく2位の点が低いときなど、審議によって該当無し
とする場合もあります。

10. 発表に関する留意事項

(1) プロジェクターとスクリーンおよびアナログ RGB(D-sub15 ピン)のケーブルは準備しますが、パソコンは再生の

トラブルを避けるため各自持ち込みとします。

- (2) パソコンはアナログRGBの出力端子があるものを準備してください。
- (3) パソコンはLANから離して動作の確認を十分して持ち込んでください。校内LAN上にある動画等のファイルに誤ってリンクを作成していることがあります。
- (4) 最近の薄型ノートパソコンはD-subの端子がないことがありますので、必ずご確認ください。
- (5) 音声が必要な場合は、申し込み時にご相談ください。



※会場の設備やパソコンの位置によっては、スピーカーに直接接続ができずマイクで拾うことになります。

- (6) 電源、レーザーポインター（緑）は準備いたします。
- (7) 操作は発表する生徒でお願いします。

1 1. 交通のご案内

- (1) JR清武駅から約1.6km（徒歩20分） 宮崎大学正門から約1.4km（徒歩15分）
- (2) 各地から清武駅までのJR時刻表（参考）

小林	都城	清武	宮崎	延岡
6:07	6:55	7:09 7:59	8:13 7:47	6:00
	7:24 (特急) 8:11	8:25 (特急) 8:15		
	7:47 9:01	8:59 8:47	8:31 (特急) 7:12	
19:22 18:33	17:27 16:42	15:55 16:22	16:42 18:13	
		17:18 17:24(南)	17:44 19:09	

- (3) 清武駅前からは、会場となる『建設技術センター前』行きのバスが出ています。帰りは都合の良い時刻のバスが無く、徒歩での出発になると思われます。ご了承下さい。
- (4) 開会行事は9：30からとなっております。時間に余裕を持って集合して下さい。

1 2. 申し込み方法

- (1) と (2) いずれかの方法で申し込みをして下さい。締め切りは平成29年10月4日（水）必着です。

(1) 郵送の場合

①申し込み用紙、②事前審査用の研究論文7部（A4用紙。様式、ページ数は問いません。）

上記2つを各学校で取りまとめ、直接下記宛先へ郵送して下さい。

宛先 〒889-1201 宮崎県児湯郡都農町大字川北 4,661

宮崎県立都農高等学校 河野 健太

(2) メールの場合

①申し込み用紙のPDF もしくはExcel ②事前審査用の研究論文のPDF データ（白黒印刷になります。）

上記2つを自然科学専門部代表アドレスへ送って下さい。その際、各学校で発表の申し込み数が4つを越えないように十分ご注意ください。

宛先 自然科学専門部代表アドレス m_sizenkagaku@miyazaki-c.ed.jp

※申し込み用紙は、宮崎県高等学校文化連盟のホームページ内にある自然科学専門部のページからもダウンロードできます。https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc021/htdocs/?page_id=75

高文連HPメニュー → 専門部、部門の紹介 → 自然科学

1 3. 問い合わせ先

〒 889-1201 宮崎県児湯郡都農町大字川北 4, 661

宮崎県立都農高等学校 河野 健太 (TEL:0983-25-0104 FAX:0983-25-5601)